

若手女性船員（旅客船）にインタビュー

愛媛内の旅客船事業者（フェリー）で三等航海士として働く20代女性に旅客船でのお仕事についてお話を聞きました。



体力に自信が無かったけど現場を見て働く決意を

どうして船員を希望したのですか

大学の持っている船で実習に行くことがあり、その中で女性航海士として働かれている方と出会ってお話をしているうちに自分も航海士という仕事に魅力を感じるようになりました。元々私は体力に自信があるほうではなかったので本当に自分が船乗りになれるのかってことも思ったのですが、会社見学で実際に現場を見て、一緒に乗る方たちともお話をし、ここなら私は船乗りとして頑張れるかもしれないと思い就職しました。

船ではどのような仕事をされていますか

三等航海士として見張り業務や車両の積み込みなどを行っています。車両の積み込みの際に傾きなどを調整するのは一等航海士や二等航海士の仕事になるのですが、その業務のサポートとして一緒に車両を積み込んでいます。



作業中の様子、船の操船だけがお仕事じゃありません！

船員になって良かったことはなんですか

良かった事は海から見る大分の景色っていうのも好きで、あとはお客さんとして乗ってこられたトラックのドライバーさんに応援してもらったりすることです。乗ってこられる時に頑張ってねーって手を振ってくださったりとか、いつも応援してるよとか声をかけてもらうことがあります。

最後に船員になろうか迷っている人に一言

就活についてのアドバイスとしては就活をする前に自己分析をすると思うのですがその時に自分の中で譲れない条件、例えば乗船期間であったりとか自分が乗りたい船種であったりとかそういうものを見つけてその見つけたものを軸にして就活をしていくことが大切かなと思います